

入中1年人権だより

徳島市 八万中学校
1年生 第2号
2022年5月30日
編集・文 吉成正士

違う意見、同じ意見、いい経験

■私は今回の人権学習について、たくさんのことを学びました。私は今回の学習を通してあらためていじめや差別などはだめでいけないことだと思いました。戦争なども人権の一部だと知ることができました。

私はこの学習を通して、ふと思ったことがありました。「いじめ」や「戦争」などの言葉は、いじめや差別などが起こっていなかったら、こんな言葉は存在しなかったのではないのかなと思いました。「差別」というこの言葉は、差がある人たちを別にしなければ、このような言葉はできなかったんじゃないのかなと思います。

それと「黒人差別」、この言葉の方が見た目で判断しているようにしか思えません。見た目はそうかもしれないけれど、やはり見た目で判断することはいじめの原因につながるから、してはいけないと思います。私はこの言葉のことを考えると、本当に見た目で判断することは良くないと思いました。見た目で判断されることがうれしい人はいないと思うけど、見た目で判断された人は決してうれしい気持ちにはならないと思います。嫌な気持ちでいっぱいだと思います。

今回、みんなと一緒に人権学習をして、みんなと考えることで違う意見もあったり、同じ意見もあったりしていい経験ができたと思います。これからも人権のことをたくさん学んでいきたいです。
(4組 KA)

「戦争は最大の人権侵害である」と言われることがあります。戦争は、意見や考えなどの違う存在が認められず、多くの人をこの世から抹殺してしまおうとする行為です。でも、どちらにも「正義」があって、その「正義」を主張することは悪いことではないはずです。ただ、それを暴力で解決しようとするのが認められないわけです。

よく私たち大人はみなさんに、「暴力はダメ」と言います。その大人たちが戦争を起こしていることを考えると、同じ大人として、みなさんに対して申し訳ない気持ちになります。本当に戦争だけはやめてほしい。戦争に関係のない一般市民、特に社会的に弱い立場のお年寄りや女性、子どもたちを巻き込まないでほしい。映像を見ていて、本当にそう思います。

さかのぼること77年前の今ごろの日本も、そんな状況にありました。特に今ごろの沖縄は、暑くてジメジメした梅雨空のなか、一般市民はジャングルを逃げ惑っていました。徳島も何度も何度も空襲を受けました。



広島や長崎には原子爆弾が投下されました。そんな現実も、「昔のこと」と切り捨てるのではなく、学んでおいてほしいと思います。これから夏にかけての「人権新聞コーナー」を見ていてください。

また、見た目差別について話し合っている映像を見てもらいました。人は見た目の第一印象で判断してしまうことがあります。それは仕方のないことかもしれませんが、それだけでその人を判断できないことも確かです。

みなさんは、見た目を褒められればうれしい気持ちになったりすることありませんか？ 私もあります。でも同時に、その逆を思ったりも



します。例えば、「スラッと細くて格好いいね」と言われるとうれしい気持ちにはなりますが、その逆に「ぼっちゃり体型はダメなのかな」「ぼっちゃり体型の人が聞けば悲しむんじゃないかな」と思ったりします。「目が二重でかわいいね」と言われると、「一重だとダメなのかな」「一重の人が聞けば悲しむんじゃないかな」と思ったりします。それによって、無理をして痩せようしたり、無理をして二重に整形したり。その人の価値観で変わろうとするのはいいかもしれませんが、自分の考えではなく、周りの意見に流されて、無理をして変えるのはどうかと思います。でも、私たちはそういった価値観にどっぷり浸かって、それが当たり前のなかで生活しているのかもしれませんが。

まだ、変えられることならいいかもしれませんが、なかには、変えようのないこともあります。生まれとか、性別とか。それを理由にして人を決めつけるのは、卑怯です。本人にはどうしようもないことをとやかく言うことは卑怯というものです。

まだまだ考えることはたくさんありそうです。これからもみんなと、こんな学習をしていきましょうね。

想像すること、対話すること

■人を決めつけることで相手が傷つくことは知っているけれど、自分も傷つくなと思いました。私も経験上、人を勝手に決めつけていることがありました。「差別はだいたい決めつけから生まれる」という発表に、私も共感しました。差別や人権問題のことを「うわさ」などの情報で受け取るのではなく、きちんと調べて分かったことを知識にする方が大切だと思いました。

自分には身近になく、まだまだ遠い所のことだと思っていたけれど、考えてみると、友達に対して冷たくすることやされることも小さな差別だと思っています。自分の考

えを行動に移すことで、一人でも多くの人が嫌な気持ちにならないと思います。私が「嫌」だと思ったら、きっと相手も「嫌」と思っているはずだから、人を決めつけたり、人に押しつけたりすることはいけないと思いました。相手の気持ちを考えることは、人間にできることだと思うので、一人一人の人権が守られるようなことをしたいです。
(4組 MN)

「己(おのれ)の欲せざる所、人に施すことなかれ」ということわざがあります。昔の中国の「論語」という本のなかで、孔子という人が言ったとされることわざです。「自分がされて嫌なことは、人にしてはいけない」という意味です。かといって、自分がして欲しいことを、他人も求めているかといえば、それはそうとは限りません。人それぞれに好みの違いがありますから。でも、最低限の行いとして、自分がされて嫌なことは人にしないようにしようということなのです。

みなさんの身のまわりには、人の嫌がっていることを面白がって茶化したり、小馬鹿にしたりすることがありませんか。互いの間に「愛」が感じられれば嫌な気分にはならないのかもしれませんが、みなさんの間柄ではどうでしょう。まずは相手の気持ちを考えて、それが合ってるかどうか、相手に確かめてみないと分からないこともあります。合ってるかもしれませんが、もしかすると違ってるかもしれません。だから、気兼ねなく対話できることが必要で、大切だということです。

似ていても、100人いれば100の事実

■この人権集会を通して、僕は今まで6年生などでやってきた人権学習を、自分なりに真剣に取り組んできたと思っていました。なので今回の人権集会でも、また似たようなことをすると正直思っていました。けれど、皆の発表を聞いてみると、自分では分かっているつもりでいたコロナ差別や部落差別、ハンセン病の人のことも、自分では出てこなかった意見や言葉が出てきました。差別は、僕一人だけではなく世間のことなので、部落差別のことなどについて知ることはいいことだけど、まずは自分の生活をふり返って、身近なところから気をつけていきたいです。そして、コロナ差別など、僕はされたことがないけれど、どれだけ苦しい思いをしているのかは分かります。でも、それを自分のことではないからといって他人事にしてはダメ。そして、その人のことを思うことだけではなく、行動していかなければならないと思いました。
(6組 NY)

似たようなことを繰り返すと、「またか」と、テンションが下がり、マイナスイメージにつながりかねません。人権学習も同じです。だから、そうならないよ



うな学習にしていく必要があります。

人権や差別には、100人いれば100の事実があります。教室に32人いれば32の事実があります。それが貴重な学習資料となります。みんなでそれぞれのことを出し合っていけば、似てはいても、毎回新鮮な学習になっていくわけです。そんな学習に、みんなで行きましょう。

ミスは必ずする!

■僕は今日人権学習で、自分が今まで習って知ってきたと思っていたことより、とても重たいことなのだと感じました。皆の発表を聞きながら、自分が知らない世界がたくさんあることを知ったり、嫌な経験をしたことを発表してくれたとき、自分も人に何か嫌なことをしてないかな...と思いました。そう思った僕は自分に腹が立ちました。でもそう考えることで、これからは気をつけて行動しようと思えることができたり、人が傷つくことを考えることができるという点から、人権問題の良い方向に進んでいけるのではないかと考えました。

そして最後に、体育祭の話が出てきたけど、正直体育祭に行きたくないという気持ちが少しあります。なぜなら僕は走るのが大嫌いだからです。でも、皆が力を合わせて、誰かがミスをしたとしても、「大丈夫」と言い合えるようになると、全員が楽しめるようになると思います。
(6組 KK)

体育祭、みなさんのクラスはどうでしたか？ 本当に全員が楽しめていましたか？ 中間テストも体育祭も人権学習だと言いました。パッと結びつかないかもしれませんが、私の中ではきっちり人権学習と結びついています。

昔起こった、私のクラスの全員リレーの話をしたましたが、他にも、その年ごとにいろんなエピソードが生まれました。そのどれもが、人権学習だと思わせられます。

人は必ずミスをします。ミスをしない人はいないと言ってもいいでしょう。ミスを責めるということは、自分のミスも責められるということです。許されないミスもありますが、そうでないならば、笑顔で許せるくらいの大きな人間でありたいものです。大切なことは、ミスをどうカバーするかです。どう乗り越えるかです。ミスをした本人だけに任せるのではなく、ミスをみんなでカバーし合うことです。ミスをみんなで乗り越えることです。その方が、相手も自分も、気持ちが楽になれるのではないのでしょうか。その方が、後々の人生にとって、大きなプラスになるのではないのでしょうか。

